学校番号	T0104

令和３年度　　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書等	化学基礎　実教出版						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

科学と私達の生活は密接な関わりを持っています。化学は科学の中でも、あらゆる物質の性質や構造を学ぶ教科です。私達が日常生活の中で利用するプラスチック製品や金属製品、化学に関するニュース等を題材にして化学について学び、科学全般に興味を持って欲しいと考えています。また、授業では、科学的な基礎知識を身につけるとともに、実験や実習、グループワークを通して自然現象や科学について、実感をもって理解できるようになることを目ざします。

2　学習の到達目標

身近な自然現象を題材に取り上げ、科学的な思考力を養う。
それとともに、科学的に自然を理解する態度を身につける。
また、グループ実験を通して、協調性と考察力を身につける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	身の回りの自然、テレビや新聞で話題になる科学的なことがらに興味をもち、自分で調べようとすること。	科学に関して疑問を抱き、その解決に向けて行動できること。また、自分の考えを分かりやすく相手に伝えることができること。	実験器具の扱い方や扱う上での注意事項を把握すること。実験の結果を正確に記録することができること。	授業で扱った自然現象の原理や概念を理解すること。また、それらの知識を日常で利用されている科学とつなげて考えることができること。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物	・授業態度 ・実習中の態度	・実習中の態度 ・提出物 ・定期考査	・問題プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元の評価基準	評価方法
			A	b	c	d		
前期	物質の構成	純物質と混合物	○	○	○	○	a : 物質の分類や原子、元素の構造について興味を持つこと。 b:物質の状態変化などに興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。 c: 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d: 物質の構成に関する知見を科学的に把握していること	出席状況 授業態度 実習態度 提出物 問題プリント 定期考査
		単体と元素	○	○		○		
		原子	○	○		○		
		電子配置と周期表	○			○		
	物質と化学結合	イオン	○	○		○	a : について興味を持つこと。 b:イオン結合や共有結合などの結合の違いによって物資の性質が変わることに興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。 c: 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d: 化学結合に関する知見を科学的に把握していること	出席状況 授業態度 実習態度 提出物 問題プリント 定期考査
		イオン結合とイオン結晶	○	○	○	○		
		共有結合と分子	○	○	○	○		
後期	物質と	金属結合と金属	○	○		○	a : 身の回りの金属や高分子を観察し、その性質や利用について興味	出席状況 授業態度

	化学結合	金属の利用	○	○			を持つこと。 b:金属や高分子が持つ独特な性質に興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。 c: 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d: 化学結合に関する知見を科学的に把握していること	実習態度 提出物 問題プリント 定期考査
		高分子化合物とその利用	○	○	○	○		
	物質の変化	化学変化と化学反応式	○	○		○	a：化学反応を実験によって体験し、興味を持つこと。 b：中和や酸化、電気分解などの化学反応について興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。 c: 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d: 化学反応に関する知見を科学的に把握していること	出席状況 授業態度 実習態度 提出物 問題プリント 定期考査
		酸と塩基	○	○	○	○		
		酸化と還元	○	○	○	○		
		電気分解とその利用	○	○		○		

※表中の観点　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現　c：観察・実験の技能　d：知識・理解
※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。